

扇小レポート 543 海外の五月

外国語コーナーが更新されました。
今月は、五月の祭について紹介してくれています。
スペインの祭も、フランスの祭も、見てみたいですね。

たくさんの花で飾られた華やかなパティオ祭り

～スペイン～

毎年5月にあるパティオ祭り(La Fiesta de los Patios)は、スペインのアンダルシア、世界遺産となっているコルドバ旧市街で開催されます。パティオはスペイン語で中庭を意味し、さまざまな形のものがありますが、基本的にはコの字型や口の字型になった建物に囲まれた中庭となっており、屋根はありません。

1918年に始まったこのお祭りでは、開催期間中の2週間でパティオコンクールが行われます。家の窓やベランダ、外壁、パティオは色とりどりのゼラニウムやカーネーション、ジャスミンなどで鮮やかに彩られます。コンクールでは、最も美しいパティオを持つ6軒に賞が贈られます。

また、お祭りの期間中には、スペインらしく広場や街角でアマチュアのフラメンコグループが夕方から夜にかけて、歌や踊りを披露します。昼間だけでなく夜も多くの人々の目を楽しませてくれる魅力的な祭りです。

民族衣装の女性たちが美しいアルルの牧童祭

～フランス～

フランスでは、5月1日は「労働者の日」で祝日。そして1年の幸運を祈り大切な人にすずらの花を送る日です。そんな日に毎年南部のアルルで開催されるのが、アルルの牧童祭(Fete des Gardians)です。牧童とは、牧場で家畜の番をする子ども、または牧場で家畜の世話をする人のことで、お祭りでは民族衣装を着た女性たちが、牧童の馬に乗り、パレードを行います。

500年以上もの長い歴史を持つ牧童祭は、1日を通してさまざまなイベントが行われ、闘牛は人気のイベントの一つです。すずらの日にちなんで、パレードで街を練り歩く牧童たちの胸ポケットや女性たちの手にはすずらんが握られています。



→民族衣装を着たアルルの女性

日本だって負けてないです。世界のお祭りを探究してもおもしろそうですね。